

平成25年度第2回 市民活動運営支援事業部会審査結果について

1 市民活動推進ファンド登録団体の選考について

横浜市市民活動推進ファンド団体登録要綱の申請要件に照らし、1団体について審査を行いました。※登録申請団体については、表1のとおり

2 市民活動推進ファンド助成金申請について

(1) 助成内容

平成25年度第2回に登録団体が行う市民公益活動に係る事業の経費について行いました。今回は平成25年4月下旬までに寄せられた寄附金を活用します。

(2) 審査について

横浜市市民活動運営支援事業部会において、登録団体からの助成金交付申請内容について審査基準に基づき審査を行いました。

(3) 開催日

平成25年5月7日（火）

(4) 申請状況

10事業 2,856,000円

(5) 審査結果

ア 交付

9事業 2,499,000円

イ 不交付

1事業

※事業の詳細については、表1のとおり

(参考) 横浜市市民活動運営支援事業部会名簿

氏名	所属等
部会長 名和田 是彦	法政大学 法学部 教授
専門委員 泉 一弘	特定非営利活動法人 ふらっとステーション・ドリーム 理事長
専門委員 清水 靖枝	長屋門公園歴史体験ゾーン 事務局長
専門委員 塚越 貴浩	横浜信用金庫 融資部 調査役
推進委員 時任 和子	特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク 代表

平成25年度第2回横浜市市民活動推進ファンド登録団体一覧

	団体名	分野	結果
1	つながる会	福祉	登録

平成25年度第2回横浜市市民活動推進ファンド登録団体助成金 交付結果

	団体名	団体概要	事業名・事業内容	団体あて希望寄附額 (5月7日現在)	申請金額	交付金額
1	チャーミングライフサポート協会	身体の中で最も大切なのは「頭脳」です。身体諸器官は総て脳に繋がっています。筋肉や骨格が訓練により強化されると同様に、「頭脳」も鍛えることが出来ます。「頭脳」を鍛えようと心身の機能が活発になります。心身機能が活発になると生活に張合いが出てきます。「頭脳」を鍛えて「明るく・楽しく・健やかに」生きることで、「生活不活発症候群」や「認知症候群」の罹病予防にもなります。具体的には、『自分の健康は自らの努力によって創り、護る「ヘルスプロモーション&スローエイジング」運動』普及のためのボランティアを育成する団体です。	【「歌って回想」健康法指導員養成講座】 公開講座を実施している、「歌って回想」健康法指導員を養成し、地域活動の支援を行う。 毎土曜日全10回 内容： 理論編（回想療法概論、音楽療法概論等） 演習編（高齢者対応レクリエーション、傾聴技法演習等） 実技（歌って体操基本1.2.3.4）	250,000円	300,000円	270,000円
2	いこいの家 夢みん	住民が自由に集い、憩い、生きがいを生み出す場としてのサロンを運営することを通じて、地域の人々が住み慣れた街で、安心して、心豊かに暮らし続けていくために、お互いに助けあい、支えあうことのできるまちづくりの推進に寄与することを目的としている団体です。	【高齢地域で気軽に楽しめる音楽プログラムによる介護予防事業】 歌声喫茶、トーンチャイム、歌謡喫茶、コーラスの音楽プログラムによる介護予防事業の実施。	0円	80,000円	不交付
3	こころの電話金沢	金沢区内で精神的助けや励ましを求めている人々に対して、電話という手段で心の思いや悩みをじっくり聴く電話相談と安否確認のための電話訪問、並びに対面相談による居宅訪問等を行うことにより、誰もが、安心して暮らせるよう、地域福祉の増進を図り、広く公益に貢献することを目的としている団体です。	【公開講演会】 公開講演会を毎年開催し、今回で8回目となる。 世の中で問題になっていること、個人で抱える問題の解決の道に参加者と考え、いきいきと暮らせる地域づくりに貢献する。 法人設立10周年。元NHKアナウンサー一町永氏に依頼し「発達障害、うつ、認知症、介護」などをテーマに講演会を開催。	20,000円	100,000円	33,000円
4	横浜移動サービス協議会	「移動の権利は基本的人権の一つ」であると考え、移動支援に関わる団体・個人が連携し、その活動形態の違いを活かし協働することにより移動困難な人に対して、1. 移動の手段を確保できること2. 移動に関する権利が社会的に保障されること上記の実現に関する事業を行い、あらゆる人が自分らしく生きること深く結びつく、移動の自由を寄与することを目的としている団体です。	【おでかけサポート・フェスティバル】 障がいや高齢のために外出できない方と支援者が共に楽しめるイベントを開催し、交流を深め、移動支援サービスについての情報を広く知ってもらう。 障がい当事者と共にイベントの企画運営を行い、チャレンジコンサートの開催、活動発表。		844,000円	844,000円
5	横浜移動サービス協議会		【チャレンジサロン運営事業】 障がい当事者、高齢者、これまで福祉に関わりの無かった人たちも気軽に立ち寄ることができる地域の寄り合い処として、障害理解の機会提供の場とするサロンの運営。 ・高齢、障害理解のためのミニ勉強会の実施。 ・当事者参加による要支援者防災計画作成、防災訓練の実施。 ・高齢、障害当事者団体活動紹介等	2,320,000円	1,002,000円	1,002,000円
6	神奈川県環境学習リーダー会	地域の環境学習活動や環境保全活動に関する事業を行い、環境の保全に寄与することを目的としている団体です。	【第20回市民環境活動報告会】 神奈川県下で「大気測定」「自然保護」「省エネ」等の環境活動をしている団体や個人に活動報告の機会を与えることにより、モチベーション向上と、意識の向上を図り、さらに交流の機会となるため、年に1回「市民環境活動報告会」を開催。 ①基調講演 ②活動発表 ③活動発表の内容を基にテーブルセッション（発表者と一般参加者） 開催日平成26年3月1日予定 場所：かながわ県民センター	70,000円	120,000円	70,000円

平成25年度第2回横浜市市民活動推進ファンド登録団体助成金 交付結果

	団体名	団体概要	事業名・事業内容	団体あて希望寄附額 (5月7日現在)	申請金額	交付金額
7	横浜カーフリーデー 実行委員会	横浜市及び横浜市民に対して、カーフリーデー&モビリティウィークに関する事業等を行い、都市の環境保全、都市交通の利便性向上、福祉のまちづくりに寄与することを目的としている団体です。	【横浜カーフリーデー&モビリティウィーク】 9月22日の「横浜カーフリーデー」は横浜公園から日本大通り・象の鼻パークを借り切り、環境に考慮した電気自動車、水素カー、ユニバーサルタクシー、バス等を展示。 また、同様な活動をしている他団体の活動報告をして、いろいろな分野とのネットワークを作る。 まちの散策を楽しむために出店を募集し、スタンブラリー等を行い、楽しみながら「持続可能な都市交通」について考える。 ※初回申請	0円	170,000円	70,000円
8	アース・エコ	持続可能な社会実現のために、地域の環境保全及び環境教育・環境学習を推進することを目的としている団体です。	【親子工作教室で地球温暖化防止】 家庭内で子どもとその保護者が一緒に省エネルギーを実践し、習慣化することにより、家庭からの二酸化炭素排出量の削減になることを目標として、工作教室を実施する。 対象は小学生と保護者で、2回開催予定。 ビデオで地球温暖化問題について学び、省エネ実験等を体験してもらう。 家庭で取り組める省エネルギーの行動目標を親子で考えて立ててもらおう。 ※初回申請	5,000円	70,000円	70,000円
9	ソフトエネルギープロジェクト	横浜市を中心として神奈川県内外に対して、ソフトエネルギー、省エネルギーの推進に関する事業を行い、温暖化防止に向けて二酸化炭素(CO2)削減に寄与し地球環境の保全を図ることを目的としている団体です。	【省エネルギー・再生可能エネルギー普及啓発事業】 1 横浜市各区との連携 市民が家庭で実践できる新エネルギー・省エネルギーの普及啓発を推進する。 2 自治体・企業との連携 自治体・企業等のイベントに参加し、新エネルギー・省エネルギーの普及啓発を推進する。 3 体験・研修センターの運営 社会人、大学生、高校生のインターンシップ等の受け入れを行うと共に各種体験機材の充実を図り、機材貸出等で支援を行います。	0円	100,000円	70,000円
10	ルンビニー・わらべ園	幼児の教育を通してシュタイナー理念を実践することにより、子どもの健全育成及び社会教育の推進を図り、あわせて地域福祉の増進を図ることを目的としている団体です。	【保育環境整備事業】 保育室の壁面の修繕作業。園舎の定期的な清掃・保守作業及び菜園、花壇など園庭の整備。 遊具作り等の実施の際は、会員や、地域の方々の参加の下で行い、相互交流を行い、シュタイナー理念の普及に努める。 ※初回申請	0円	70,000円	70,000円
					2,856,000円	2,499,000円